

深浦町



きたかねがさわ

北金ヶ沢のイチョウ

国天然記念物

指定年月日 平成 16 年 9 月 30 日

イチョウの樹種で日本一の大きさとなっている。樹高 31.5m、幹周り 22m。主幹に多数の気根が発達し、これが人間の乳房に似ていることから、垂乳根のイチョウともよばれ、地域の人々に篤く信仰されてきた。

せき すぎ 関の杉

県天然記念物

指定年月日 昭和 30 年 1 月 7 日

推定樹齢 700 年～1,000 年、樹高 34m、幹周り 890 cm (県内第 5 位)。平成 11 年の修復工事の際、14 世紀前期の古瀬戸瓶子が発見され、中には火葬された人骨が納められていた。

せき こ ひぐん 関の古碑群

県史跡

指定年月日 昭和 30 年 1 月 7 日

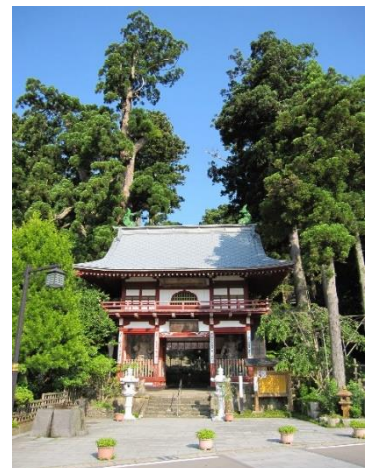
南北朝時代に造立された 42 基の板碑。板碑とは石で造られた塔婆で、造立の目的は故人の供養、造立者の来世の極楽往生を願う逆修がある。

えんがくじ 円覚寺

大同 2 年 (807 年)、征夷大將軍・坂上田村麿が建立したと言われている真言宗醍醐派の寺。本尊には、聖徳太子作と伝えられている十一面観音が安置されている。また、海上安全を祈り船乗り達が切り落としたちよんまげがついた鬘額や船絵馬は国の重要有形民俗文化財に指定されている。



(深浦町教育委員会撮影)



春光山円覚寺